

2024年度 高松協同病院 回復期リハビリテーション病棟 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
平均在院日数(日)	62.7	56.6	79.5	70.6	63.0	72.0	67.4
在宅復帰率(自宅のみ)	64.5%	80.6%	68.0%	69.0%	75.0%	70.4%	71%
在宅復帰率(施設含む)	96.8%	94.4%	92.0%	93.1%	100.0%	100.0%	96%
単月実績指数	45.7	61.4	53.5	55.9	54.7	57.7	54.8
病棟職員数(常勤換算:人)	130.9	129.9	126.9	127.9	126.9	126.9	128.2

今年の夏にも新型コロナウイルス感染症の集団感染が病棟で発生し、病床の稼働率や平均在院日数等に一定の影響が出てしまいました。それでも数年続いた新型コロナウイルスへの対応の経験を活かし、感染対策をしながらもリハビリテーションを止めることなく入院患者に提供できるようになってきました。今後インフルエンザも含めてまだまだ感染対策を緩めることが困難な中ですが、質を落とさず入院リハビリテーションが可能ないように努力を続けていきます。

院長 北原孝夫

香川県災害リハビリテーション支援協会設立記念式典



当院の植木副院長が代表を務める、香川県災害リハビリテーション支援協会(香川JRAT)が今年の1月に設立し、設立記念式典が9月22日に行われました。午前、設立記念式典と日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)代表理事の栗原正紀先生の素晴らしい記念講演があり、70名の参加がありました。午後からは、熊本JRATの佐藤亮先生の研修会を開催し、医師やリハビリ関係職種中心に42名参加があり、災害時の基本的なリハビリテーション支援を模擬体験するシミュレーションゲーム等を行い、実りある研修会となりました。

JRATとは、リハビリテーション科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、ケアマネージャー等、その他医療福祉関連職団体が構成されます。基本方針としては、平時から各団体が連携し、各地域において地域住民と共に災害へ立ち向かえるように、災害リハビリチームを発足させ、大規模災害発生時には災害弱者、新たな障害者、あるいは被災高齢者等の生活不活発病への予防に対する適切な対応を可能とすることで国民が災害を乗り越え、自立生活を再建、復興を目指していけるように、安心、安全且つ、良質なリハビリテーション支援を受けられる制度や体制の確立を促進することを目的としています。

桜町中学校の生徒さんが職場体験

9月11～12日 桜町中学校の生徒さんが職場体験に来られました。

今年は、昨年より職場や職種を増やして受け入れ対応をしました。理学療法士からは患者の立ち座り訓練や歩行アシストの機器体験。医師とお話Time。管理栄養士の仕事と『食生活』について。そのほかにも外来・通所リハビリで見学や利用者さんと一緒に体操を行ったり、薬局では分包機で学校名が印字され喜ばれていました。看護師から摂食嚥下体験や血圧測定、呼吸音の聴診、酸素飽和度測定、心電図モニター、手洗いチェッカーで手洗い状況の確認など盛り盛りたくさんなコースに。

医療従事者に興味を持ち、未来の医療従事者に繋がるといいな～☆



新人Ns リフレッシュ研修

入職から半年が過ぎ、日々の業務も一人でやるのが増えました。成長の実感・嬉しさとともに不安や緊張も続いているため、“リフレッシュ”することを目的に毎年8～10月頃、高松協同病院・高松平和病院合同で新人看護師を対象に行っています。

今年度は、9月14日（土）に徳島県の穴吹川周辺（うだつの町並みと穴吹川の河原を散策し遊ぶ）にお出かけしました。うだつの町並み散策は、晴天で暑かったけれど、徳島県の「名産すだちサイダー」を飲んで涼んだり、藍染めのお店の番頭さん人形に驚いたり、川を見下ろしながら蕎麦を堪能しました。

また、穴吹川の河原では、マイナスイオンに癒され同期と楽しくリフレッシュして過ごすことができました。

同期の仲間と励まし合いながら、残りの研修・業務の自立も頑張りよう！



リハビリ機器の紹介

MELTz (手指運動リハビリテーションシステム)



当院に8月よりMELTz (手指運動リハビリテーションシステム) がデモで導入されました。MELTzは独自のアルゴリズムを搭載したAIにより、前腕の筋肉の電気信号を総合的に分析。患者さんが行おうとしている手の動きを識別し、ロボットのアシストによって、同じ動作を何度も正確に再現することで、より多くのリハビリテーション機会を提供できます。



キックオフ集会

2024年9月21日（土）10:00～11:50に「ふれあい会議室」で「2024年度 高松東ブロックキックオフ集会」を開催しました。

参加者は、39名（組合員21名・職員14名・組活4名）でした。

高松協同病院や地域組合員さんの日頃の活動がお互いよく知れてよかった。症例の発表で患者さんに寄り添う活動に感動した。など交流を通じて、双方の理解が深まった集会でした。

今度は地域で一緒に医療生協を広げる活動を行います。

※キックオフ集会とは、医療生協の組織を強くするための活動月間開始に先立ち地域の組合員さんと意思統一を行う集会です。

